

クロアワビ



- ・ 沿岸の岩礁域に生息し（メガイアワビより浅い）、主に外房地区で素潜りにより漁獲される。
- ・ 4～5 歳で制限殻長の 12 cm(230g 前後)に達する。
- ・ アワビ類の産卵期は 10 月～翌年 1 月。
- ・ 1968 年からアワビ類の種苗放流が行われている。近年の一般漁場における混入率(過去 5 年平均)は 1～22% (※1)。

※1 漁獲物調査を実施している千倉 2 地区、鴨川 1 地区、勝浦 1 地区の 2013 年～2017 年の平均。

資源評価

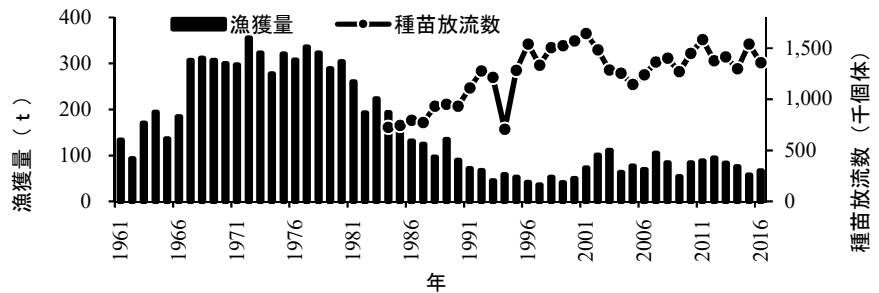
水準：高位 (※2)



動向：横ばい



漁獲量



クロアワビ漁獲量 (千葉県調べ) 及び種苗放流数 (栽培漁業種苗生産、入手・放流実績 (全国)) の経年変化

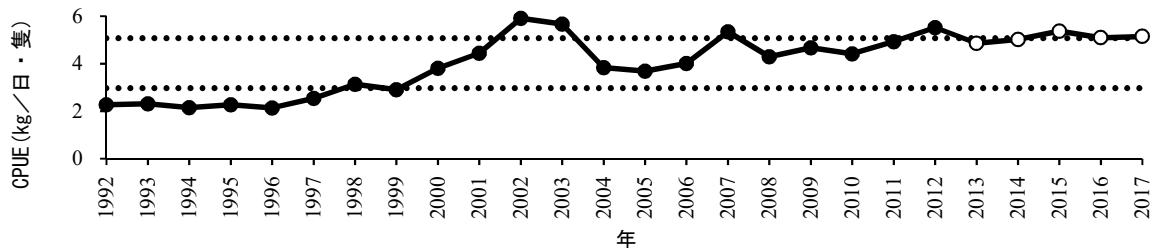
- ・ 最大は 1972 年の 355 t。
- ・ 最小は 1997 年の 35 t。
- ・ 2016 年は 66 t。

注) 資源水準は、原則過去 20 年以上の評価指標値 (CPUE) から 4 分位により評価した。
資源動向は、最近 5 年間の評価指標の近似式から年間 5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は主要地区一般漁場の素潜り漁業の CPUE (1 日 1 隻当たりの漁獲量) で判断した。
- ・ 2017 年の資源水準は最近 26 年間の高位 (※2)。最近 5 年間の資源動向は横ばい傾向であった。

※2 評価期間内のデータから判断される資源状況は「高位」であるが、それ以前の資源水準 (CPUE) は漁獲状況等から現在を上回っていたものと考えられる。



クロアワビ主要地区一般漁場素潜り漁業 CPUE の経年変化

資源管理の取り組み

- ・ 千葉県海面漁業調整規則で制限殻長 (12 cm 以下のものは採捕してはならない) と禁漁期間 (9/16～3/31) が定められている。
- ・ 漁法の制限, 操業時間の制限, 種苗放流, 密漁対策, 禁漁区漁場の輪採制の導入及び稚貝保護区の設定等, 漁業者による自主的な資源管理や増産活動が行われている。